

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東 1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

2013年3月 (No.9)

今月の聖句

イエスは弟子たちに言われた。「はっきりしておく。金持ちが天国に入るのは難しい。
重ねて言うが、金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通るほうがまだ易しい」

マタイによる福音書19章23節—24節

主題

国際会長	Poul V. Thomsen	「全ての世界に出て行こう」
アジア地区会長	岡野 泰和	「未来を始めよう、今すぐに」
東日本区理事	渡辺 喜代美	「いざ立て」
あずさ部長	藤江 喜美子	「心を一つに あずさ部号前進」
武蔵野多摩会長	伊佐 節子	「健康第一！ちょっとだけ無理して頑張ろう！」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさとろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

12月出席率 在籍者11名 出席者13名 メネット1名 メイキャップ0 ゲスト1名 出席率90%

ワイズとユース

宮内友弥

数年前、山中湖での YVLF で依頼されて話す機会があった。当時ワイズで具体的にユースに関わった経験が無く何を話したら良いのか戸惑ったが、自分の体験しか無いと思い海外への薦めを中心に短期の旅行では得られない経験をして大いに視野を広げて欲しいし、そのチャンスがあれば自ら手を挙げてでもと話しかけた。若者達の反応は、今ひとつであった。考えて見ると 1970 年代にはまだ持ち出し外貨は 500 ドルに制限され海外は今程身近ではなかった。それ故若者達も海外志向が強かったと思われる。それに比べ今は仕事等で苦労して行かなくても手軽に旅行で簡単に行ける事に加え、時代の

経過とともに若者の価値観が変化・多様化している事を痛切に感じさせられた。この事は裏を返せば従来の価値観だけを押し付けるのではなく、今の若者が何を考え何を求めているのかを知る事なくして彼らを理解出来ないと言うことであろう。 ワイズメンズクラブもユース卒業生の受け皿たらしめています。その為にはユース世代が何を考えワイズに何を求めているのか知る事が必要です。我がクラブは、例会場に行けば常にリーダーが活動している恵まれた環境にあります。大いに西東京センターに集まるリーダー達と交流を深め若者の志向を吸収する事に努めましょう。

第2回あずさ部評議会報告

2月1日(土)「七里岩評議会」と名打って蕪崎市民交流センターにて62名の参加のもと開催され3件の議案が審議された。(当クラブから伊佐、山口、宮内が出席)

第1号議案 次期部役員承認の件

望月部長他提案通り承認。

第2号議案 次々期部長クラブ推薦の件

提案通り甲府クラブの推薦が承認された。

第3号議案 CS/ASF 助成金配分の件

提案の6事業が承認された。当クラブからは、初めて「くにたちさくらフェスティバル」に20,000円が配分されることとなった。

その後事業主査報告、クラブ会長の活動報告があり、懇親会では会食、各クラブからのアピール等で交流の場が持たれた。

2月武蔵野多摩クラブ例会のよう

日時 2月12日(水曜) 19時 場所 YMCA 西東京センター

受付 宮内・松田 司会 山本 聖書・祈祷 小坂の各ワイズ

ゲスト 久保田ワイズ(八王子クラブ) ゲストスピーカー YMCA 同盟 永岡 美咲氏

卓話「世界と日本のYMCAのユース教育」

チェンジ・エージェントの話がメインだった。YMCAで育成されているユース約270名(18~30歳)の集まりチェンジ・エージェントは人を引っ張るのではなく指導するでもなくどうすれば旨くいくか、自分で自分をチェンジしYMCAをチェンジ変革するプロデューサーの人材育成を2012年から世界的に始めた。

目的は世界規模でYMCAの知名度をあげる。まず世界の夫々のYMCAはその場にいながらにして繋がりあっている実感を得るためにマレーシアから始め、集まった若者に、吉野源三郎の「君たちはどう生きるか」コペル君に伯父さんが君の着ているセーターはオーストラリアの羊の毛が幾人も幾人も人の手をへて君を暖かくしている話を地で行く、皆が手にしている紙パックの飲み物を例にして人と人の係わり合いの話から始まった。

その後スリランカ、プラハと研修を重ねIT's Time-YMCAを新たなYMCAのブランディングとしていくにいたった。

研修の様子や集まったメンバーの反応など聞いているうちに山中湖や東山荘のリーダートレーニングとどこが違うのか疑問がわいてきた。従来のYMCAの姿のままでは衰退していく、それからの脱却と復活を図っているのではないか、それができる人間の養成。未来の姿を描き行動できるプロデューサーの養成ではないのかと思った。

話の中で見た世界各地のリーダー達の様のVTRの音楽が、音をフィードバックさせて新しい音色を作っていた。

育成、つまり投げたボールにプロデューサーの眼のある返球のフィードバックが受け止められて初めて自分をチェンジし、YMCAがチェンジ変革がされる。YMCA同盟のヨハン総主事の言う「若い世代に委ねる」が実現するのではないのかと思った。手始めにYMCAに近い身内の意識改革を始めようとしているのかと思った。

今回卓話は今のYMCA現状を十分わかったとしての上でのスタートか、私には浅学のため全部が見透せなく、こうでしたとレポートできなかつた。YMCAが簡単に分からないように今回のテーマもそうだった。

神戸学園都市ワイズメンズクラブ 20 周年記念例会

優しい兄弟想いを一身に受けました。「伝言！我々の雰囲気を武蔵野多摩にうんと伝えてくれ！」

20 周年記念例会参加をこころまちにしていたのに、折悪しくインフルエンザと肺炎になり例会日に間に合わしてくれと入院、大雪第一波の前日 16 日目に退院、弱った足のトレーニング。

神戸に住む従兄弟達について久々に会おうと 1 日早く出発。

記念例会の当日早朝、伊佐会長から悲鳴の電話「東京は 17 日に続く第二波大雪交通機関麻痺、家から出ることもできない！」それから電話のやり取り数度、出席予定メンバー全員の代理を務めることに決定。

神戸駅から目印ののぼりを伝えて 8 分会場に到着、先ず杉本ワイズとの硬いハグから。

テーブルは IBC 台湾ポートクラブの隣が DBC の我々。がら空きの DBC テーブルが学園都市のメンバーでそれとなく埋められて行く心遣い、「ウーン！」唸ってしまった。

開会礼拝 丹羽 和子牧師 15 周年記念のときもヨハネ 15 章のぶどうの木のところをお話しました。エルサレムへ旅をしました冬のエルサレムのぶどうの木は葉が落ち木は細くくねくねと絡み合っていました。立派な枝を張り実をつけている幹はそれとは対照的なのだそうです。それがイエスにつながる者の姿なのだと感動しそのお話をしました。直後ある男性が近づいてきて「私は痩せてなくみすばらしくなく太い木ですが私もその枝を支えよ実がなるよう努力しています」その人を見て、なるほどと爽やかな気持ちになりました。（今回の実行委員長に違いない、的中！）

我々が YMC A にキリスト教を土台としてつながっていますがただの仲良しグループではありません、時には意見の違いが出てきますが、そのキリスト教のどのような視点を大切にするかです。一人ひとりの視点と役目が大切です。

記念講演 岡野 アジア地域会長 「アジアの中の日本のワイズ」

我々はヤングのため、若い人たちにつかえるためのワイズです。YMC A の Y はヤング！ Y s の Y はヤング！ Y と Y s は対等なパートナーシップで結ばれています！コリント人への第一の手紙 1 2 章 1 2 節と 1 6 節、体と肢体で始まり快調にスマートに火花がどんどん上げられてゆく！世界で 5800 万人の会員を持つ青少年支援団体だがまだ眠れるおおきな熊だ。目覚めさせ蓄えた力を使い働かせるべき責任がある。

九つの地域中のワイズで発祥の地アメリカから衰退が始まり危機意識を持っている。2022 年の発祥 100 周年を機に Y, Y s 一緒になってメンバー数 5 万人確保に乗り出しているターゲットは若者！若者を支援し彼らの声と力をもっと世界に発揮してもらおう！会場は魅了されてゆく！

チェンジ・エージェント 若者たちのリーダーを戦略的に育成してゆくそのための支援を Y s は Y にポケットをはたけ！ Y は必ず答えてくれる！

多摩クラブでチェンジエージェントとその現状を今月の卓話で話さればかり、あのときの疑問がここでも解けなかった。

3 部 祝会 の音楽と、おいしいお酒と、ご馳走と、紹介し合いと、アピール後の IBC、DBC、ホストクラブの集いで発言してしまった「Y には知名度がさがり衰退の根本原因があるはず、Y s も共に衰退を招いているのではないか、つらいことだが先ず中から原因を洗い出し、その後新しい発展する芽をもった若者を集めなければ今の年寄りの意に沿うだけの・・・

かつて「こんなに YM を思っているのに」と言いながら追い出されたり、飛び出した若者たちがいた。あんな若者たちが今必要なのだ、という声が聞こえてきた。

この会で学園都市クラブの中にどっぷり浸かってしまった。関西ベースはおもしろい人つまり個性豊かな人がモテル！皆んなしてターゲットに面とむかって、何かにつけ、とことんこき下ろす、それが親しみと信頼とつながり！に証。こき下ろされたほうはやおら立ち上がり「俺は鮫鱈の吊るし切か！」後はさらっとした空気！

心に残った言葉「また餅つきをすればいい」人気の餅つき大会はクラブの活動資金源だな！かつて西東京センターサポートチームでセンター独自の活動資金源獲得を提案した仲間が古参リーダー O B にそれは YMC A にそぐわないと一括されたことを思い出した。

「私は商売を難しいと思ったことがない、それはあえて商売のタブーを犯し宗教の話をするから」人と人との関わりの意味深さを感じた。

明日は IBC は京都、DBC は明石の先にある日本の吟醸酒中の吟醸酒づくりを目指す酒蔵見学と・・・人数制約が厳しく予約制、欠けた我がクラブの分を 4 人の女性軍が下戸ながら埋めてくださる。

全く純粋な大吟醸酒造りしか目に無い頑固で下戸の蔵主いわく「日本の醸造制度は税金本意、安いものが売れ、より多くの税金が上がるにできている。我が蔵は良いもの純粋なものを求め目指し続けて何度もつぶれかけ、海外資本の誘惑に負けそうになったが愛好者の助いで・・・

純粋とは自然にいかにかうまく融合するか。地球の温暖化もかなり響いているなど思った。

前庭に用意された大樽の蓋を半分に切った 10 卓のテーブルを 7 人が囲む。用意のマイ箸、陶芸家寄贈のぐい飲みを選び自分で決めた代金をビンに投入、被災地支援金となる。テーブルには透明と濁り 2 種類のビンが用意され最初に粕汁が配られる。こんなにうまい粕汁があるのか！この蔵の舟は手絞り！「ウーム」美酒に美男美女の飛び切りの会話に酔いしれた。最後に皆んなに送られて三の宮駅へ。別れ際これは「私が使ったぐい飲みだけど」そっとぐい飲みを渡された。ポケットの中で篤い DBC を握り締めて帰宅の途についた。

松田 記

<西東京 YMCA 便り>

鳩山徹郎

2 月は 2 週にわたり週末を中心とした大雪に見舞われました。雪への対応力が低い都市部を中心として交通網に多大な影響が出ました。YMCA でも多くのプログラムを予定しておりましたので、急遽の変更など対応に追われました。皆様の中でも、予定通りにいかず大変な日々を過ごされたのではと思います。大自然の脅威を感じますね。

東京は雪が降ると大変ですが、3 月末までスキーキャンプを予定している身としては複雑な気分です。例年、春のキャンプは雪が不足し、滑れる範囲に限られることもしばしばです。雪がたくさん降ってほしい。大変な一方でそう願っている部分もあるわけです。現在、YMCA では 3 月末のプログラムのために準備を進めています。大学生はすでに春休みに入っていますので、昼すぎからリーダーたちが集まってきます。大学が休みのこの一か月、毎日とても賑やかなコミュニティーセンターです。

つい先日、日本キャンプ協会、ボーイスカウト、ガールスカウト、YWCA、YMCA の 5 団体の共催で、「出会いと体験の森フォーラム」が行われました。子どもたちが健やかに成長するためには、学校、家庭の他に第三の場所が必要であり、その場所になり得る私たちの活動を広めていくことを目的していました。私自身、教育全般における学校教育への過剰な期待や負担は、様々なところで多くの歪みを生んでいると思い、家庭だからこそ出来る教育の見直し、学校教育で実施すべき教育の見直し、その双方を包括的にフォローアップし得る社会教育の意義をいつも考えています。子どもたちは将来の宝ですね。人間として大切な価値をしっかりと身に付けて成長出来るようなサポートをしたいものです。

<西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- 3/2 春季宿泊プログラム 打ち合わせ会 / 2013 年度卒業リーダーを祝う会
- 3/3-5 スキー特別リーダートレーニング
- 3/7-9 知的障がいをお持ちの方対象のスキーキャンプ「スノーマンキャンプ」
- 3/11 西東京センター主催 復興活動報告及び街頭募金～東日本大震災から 3 年～
- 3/13-16 春季実技スキーリーダートレーニング
- 3-19-20 春季日帰りプログラム「わんぱくキッズⅠ」
- 3/23 中高生グループ活動「TEENS」3 月例会
- 3/25-26 春季日帰りプログラム「わんぱくキッズⅡ」
- 3/26-30 春季宿泊プログラム「シュプール・ユースキャンプ」/「ユーススキーキャンプ」
- 3/27-30 春季宿泊プログラム「キッズスキーキャンプ」

今月のバースデー 山口ワイズ 3・28 山本メネット 3・5

今月の卓話 「意に地の電話」 鶴 清忠氏 我がクラブとは深いご縁、久々の顔合わせ、お楽しみに！